

ZERO project 主催 舞台オーディションのご案内

平素よりお世話になっております。

この度、ZERO project 主催演出家田尾下哲氏によるオリジナル舞台の出演者オーディションを行います。

公演概要

【公演概要】

公演名：TATSUYA 楽劇大学駅前店（仮）

劇場：新宿 THEATER BRATS（130席）

公演期間：2023年9月13日（水）～9月18日（月祝）（8公演予定）

【スタッフ】

脚本・演出：田尾下 哲

エグゼクティブプロデューサー：新倉宗樹

プロデューサー：伊藤綾美・清水裕之

協力：株式会社アール・クルー

企画・製作：ZERO project

公演概要

【スケジュール】

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ◇2023年4月21日 | 書類締切 |
| ◇2023年5月11日、12日（予備日） | 2次オーディション |
| ◇2023年6月中旬（予定） | ビジュアル撮影 |
| ◇2023年7月初旬 | チケット発売開始 |
| ◇2023年7月中旬 | 顔合わせ・本読み |
| ◇2023年8月中旬 | 稽古開始 |
| ◇2023年9月12日～9月18日 | 本番（小屋入り・場当たり・ゲネ含む） |

オーディション概要①

【オーディション】

①書類選考

②演技・質疑応答・面接（都内予定）

オーディションに費用はかかりませんが、会場までの費用は参加者ご本人様の負担となります。

【応募条件】

◇主役、メインキャスト、サブキャスト

◇18歳～30代の男性、女性

◇心身ともに健康な方

◇チケット販売に協力できる方

◇ギャラ有り（応相談。チケットバック、物販バック相談）

【特記事項】

◇チェキ撮影、パンフレット、ブロマイドの物販を検討

◇ビジュアル撮影にご協力いただける方（物販）

◇劇中ストアイベント、アフタートークなどの日替わりイベント

オーディション概要②

【エントリー方法】

◇audition@zeropro.net にプロフィールをお送りください。

※メールでのみ受け付けます。持ち込み、郵送での対応は致しかねます。

◇2023年4月21日必着

【エントリー時のお願い】

◇最新プロフィールをPDFまたはJPG、ファイル名を「俳優名」にてご提出をお願いいたします。

◇エントリーメールの件名は「ゼロプロ舞台エントリー」にてお願いいたします。

◇複数名エントリーする場合は一つのデータにまとめずデータを分けてお送りください。

◇現状スケジュールにNGがある場合はご記載ください。

◇ご担当者のお名前・電話番号・メールアドレスは必ずご記載するようお願いいたします。

あらすじ

【物語の設定】

東京都世田谷区にある架空の楽劇大学駅前の DVD レンタルショップの店内を舞台に物語は展開する。時は 2023 年 12 月 24 日、クリスマスイブからクリスマスにかけての 2 時間。

【あらすじ】

古き良き時代のマフィア的な強盗に憧れるジーン強盗団が首相官邸から盗み出した CD-R が一味のガーリーのうっかりとしたミスのために TATSUYA のレンタル DVD に紛れ込んでしまった。CD-R を預かっていたガーリーは自分が借りた DVD の中に CD-R を間違って入れてしまい、返還してしまったのだ。その CD-R を奪還するために店に潜入するジーン強盗団だが、そこには既に日本の国家機密を奪おうとする FBI、奪い返そうとする SP たちが潜入していた。一般客を巻き込む争奪戦は、ガーリーが DVD の元にあった場所が特定できないことで一層混乱する。数ある DVD ケースの中から一枚の CD-R をめぐるドタバタの戦いの幕が切って落とされる。劇中にはゲストのストアイベントがあったり、販促イベントがあったりと、挿入的な場面も用意して、観客に楽しんでもらう趣向である。

キャラクター

(★の数は役の重要度の目安です)

<ジーン強盗団の4人組>：本作の主人公たち。

★★★★★ボッシー…ジーン強盗団のリーダー。キザだが、少し抜けたところがある。

★★★★★アデージョ…ジーン強盗団のお色気担当で、姉御的存在。

★★★★★ガーリー…ジーン強盗団の情報・知能担当。痩せっぽっち。理屈っぽいが抜けている。

★★★★リキシー…ジーン強盗団の力業担当。相撲取り言葉を使う。

<FBI側>：日本国首相の極秘情報を入手し、政治的に優位に立とうと画策するアメリカ側の人間。

★★★FBI…サングラスをかけた、いかにも大統領関係筋に見えるアメリカ人。

★★FBI通訳…その通訳。

<政府筋のSP>：首相官邸から流出したCD-Rを取り戻すべく出動している日本政府側の人間。

★SP 新人研修君

★★★SP

★★★大泉首相…歴代の総理大臣を輩出している名門家系の新進気鋭の政治家で、日本国総理大臣。

その他にも TATSUYA 楽劇大学前店の店員や客があります。

脚本・演出家プロフィール

田尾下 哲 Tetsu Taoshita

演出家／劇作家

1972年兵庫生まれ、横浜育ち。

第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。

慶應義塾大学工学部中退。東京大学建築学科卒業。東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。同博士課程単位取得満期退学。

ドイツ人演出家ミヒャエル・ハンペに西洋演劇、演出を学ぶ。2000年から演出家として活動。

03年から09年まで新国立劇場に所属し、オペラ・チーフ演出スタッフを務めた。

09年、チューリヒ歌劇場『カヴァレリア・ルスティカーナ／道化師』で、共同演出・振付を担当しヨーロッパデビュー。

近年の演出代表作は、オペラでは日生劇場『ルチア』、グランドオペラ共同制作『カルメン』、神奈川県民ホール『金閣寺』、『ヘンゼルとグレーテル』、二期会『カヴァレリア・ルスティカーナ／道化師』、びわ湖ホール『リゴレット』、あいちトリエンナーレ『蝶々夫人』、一柳慧新作『ハーメルンの笛吹き男』、新国立劇場『スペース・トゥーランドット』、『フラ・ディアヴォロ』がある。

ミュージカルでは関西テレビ『ドロシー』、LDH『INTERVIEW』、『チャミ』、『天使について』、『シデレウス』、明治座『ふたり阿国』、ホリプロ『天才執事ジーヴス』、『ボニー&クライド』、東宝『ソングス・フォー・ア・ニュー・ワールド』、フジTV『プロミセス・プロミセス』、リリック『ザ・クラブ』、日生劇場『三銃士』など、芝居では『王女メディア』、『プライベート・リハーサル』、『ベアトリーチェ・チェンチの肖像』、『クロード』、『ガラスの動物園』など、ノンヴァーバル・ショー『京都 SUSHI 劇場』、2.5次元舞台『ダンガンロンパ THE STAGE 2016』、能『羽衣』、歌舞伎『雪蛭恋乃滝』など多数。

劇作家として、関西テレビミュージカル『ドロシー』、明治座ミュージカル『ふたり阿国』、オリジナル戯曲『プライベート・リハーサル』、『ベアトリーチェ・チェンチの肖像』、オペラ台本『ハーメルンの笛吹き男』、『フラ・ディアヴォロ』、『スペース・トゥーランドット』、朗読劇用の翻案作品『ジェイン・エア』、『ジキルとハイド』、『シラノ・ド・ベルジュラック』、『レ・ミゼラブル』、『オペラ座の怪人』、『モンテ・クリスト』を発表。舞台の上演台本としてフジTVミュージカル『プロミセス・プロミセス』、ホリプロミュージカル『ボニー&クライド』、リリック『ザ・クラブ』、などがある。

2021年10月、創成社から戯曲集『傑作誕生をめぐる物語 三部作』が発売中。

今後もオペラ、ミュージカル、芝居の演出の他、海外での劇作が控えている。

桜美林大学准教授、名古屋音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授。